

諸橋芳夫初代病院長生誕100年 旭中央病院地域医療講演会 — 諸橋芳夫の遺したもの —

事前申し込みが
必要です
入場無料

総合病院国保旭中央病院は、地域住民の健康を守ることを目的として、1953年に開設されました。諸橋芳夫初代病院長は「すべては患者さんのために」という理念を掲げ、地域医療を担う病院としての当院の礎を築きました。これは地域医療の先駆であり、この姿勢は脈々と現在まで続いております。今年、諸橋芳夫初代病院長の生誕100年になります。この機会に地域の皆様と地域医療について共に考えたいと存じます。

2019.
10.12 土
13:30~16:30 [12:30開場]



初代病院長 諸橋芳夫

会場 千葉県東総文化会館 (大ホール)

住所: 千葉県旭市ハ666番地

申込期間 7月1日~8月30日

定員 600名 入場には整理券が必要です。
応募者多数の場合は、抽選になります。
お申し込み方法は、裏面をご覧ください。

記念講演 I

いのち
生命輝かそう旭中央病院
~ 諸橋芳夫先生の遺志を継いで ~
(全員参加の健康づくり、街づくり)



公私病院連盟 会長
地域医療・介護研究会 JAPAN 会長
全国自治体病院協議会 名誉会長
赤穂市民病院 名誉院長

へん み きみ お
邊見公雄 先生

講師プロフィール 1944年 中国
三江省佳木斯 (ジャムス) 生まれ
1968年9月 京都大学医学部卒業

記念講演 II

病気という名の自己発見



作家・作詩家 **なかにし礼** 氏

講師プロフィール 1938年 中国黒龍江省牡丹江市生まれ。立教大学文学部仏文科卒業。大学在学中よりシャンソンの訳詩を手がけ、1964年『知りたくないの』のヒットを機に作詩家となる。ヒットメーカーとして活躍を続け『今日でお別れ』、『石狩挽歌』、『時には娼婦のように』、『北酒場』、『まつり』など約4,000曲の作品を創る。『天使の誘惑』ほかで日本レコード大賞を3回、同作詩賞を2回、またゴールデンアロー賞など受賞歴多数。その後、作家活動を開始、『長崎ぶらぶら節』で2000年1月第122回直木賞を受賞。一方、舞台作品の台本・演出も手がけ、演劇・舞踏・オペラを融合した「世界劇」という新しい上演形式は高い評価を受けている。



地方独立行政法人

総合病院 国保旭中央病院

〒289-2511 千葉県旭市イの1326

TEL.0479-63-8111 (代表)

お問い合わせ: 諸橋芳夫初代病院長生誕100年記念行事運営委員会 (平H:8:30~17:15) <http://www.hospital.asahi.chiba.jp/>

諸橋芳夫初代病院長生誕100年 旭中央病院地域医療講演会 — 諸橋芳夫の遺したもの —

申し込み方法

- ①申し込み締め切り：8月30日(金)
- ②応募者多数の場合は抽選となります。
- ③頂いた個人情報、利用後は速やかに廃棄いたします。
- ④車イスをご利用の方は事前にご連絡ください。
- ⑤中学生以下のお子様は、保護者同伴でご応募ください。

入場には整理券が必要です

お申し込みいただいた方に入場整理券を返信ハガキ、返信メールにてご連絡いたします。応募者多数の場合は抽選になりますので、入場できない方にはその旨をご連絡いたします。9月中旬にご連絡予定です。9月30日(月)までに連絡がない場合はお問い合わせ下さい。当日は入場整理券を必ずご持参ください。

「往復ハガキ」でのご応募

1枚につき2名様までご応募可能です。往信用の裏面に申し込み者の「住所・氏名(ふりがな)・年齢・電話番号」、2名の場合はお連れの方の「氏名(ふりがな)・年齢」を明記してお申し込みください。 ※8月30日(金) 当日消印有効

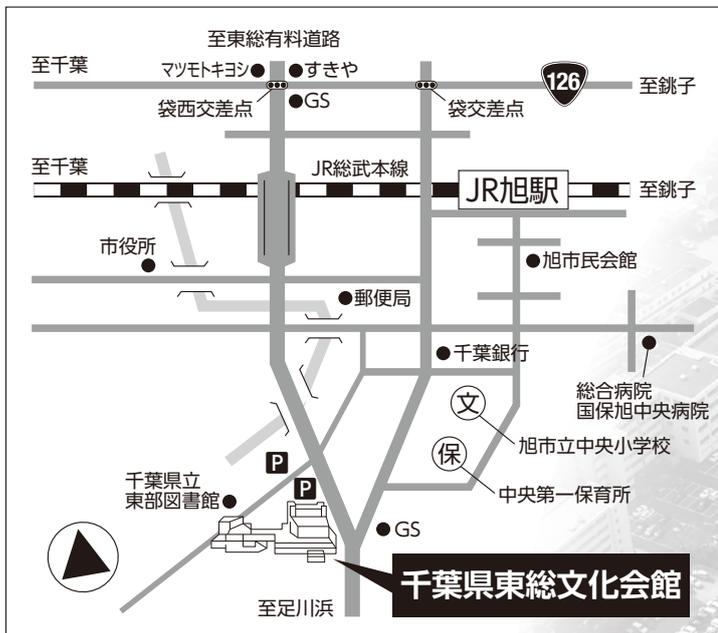
「旭中央病院公式サイト」でのご応募

1つのアドレスで2名様までご応募可能です。公式サイトにある「特別講演参加申し込み」のボタンをクリックして必要事項を入力し、「お問い合わせ内容」に「地域医療講演会参加申し込み」、2名の場合はお連れの方の「氏名(ふりがな)・年齢」を入力してお申し込みください。 ※8月30日(金) 送信日有効

会場案内

会 場：千葉県東総文化会館(大ホール)

住 所：旭市ハ666番地



JR旭駅より徒歩15分

往復ハガキの書き方

62	2892511	
往信		
旭市イの1326番地 旭中央病院 地域医療講演会 参加申し込み係 行		返信用の裏面は 何も記入しないで ください
往信(表)		返信(裏)

62	□□□□□□	
返信	(申し込み者住所)	・住所 ・氏名(ふりがな) ・年齢 ・電話番号 ・申し込み人数 1枚につき2名まで (2名の場合はお連れの方の氏名・年齢)
	(申し込み者氏名) 様	
返信(表)		往信(裏)

ごあいさつ

旭中央病院は、1953年3月1日に地域住民が健康を自らの手で守り、国の皆保険制度実現に協力するため、旭町外8ヶ町村(現旭市)により開院し、今年で66年になります。

開院当時は、病床数113床(一般35/結核78)、診療科目4科(内科/外科/産婦人科/小児科)、全職員45名、内医師8名でした。

2005年7月1日の旭市・飯岡町・海上町・干潟町の合併により、旭市立病院となり、2016年4月1日より地方独立行政法人へ移行しました。

2019年5月現在、病床数989床、診療科目40科、全職員2,145名、内医師274名(研修医を含む)・看護師942名。

これからも住民の皆さんに安心して頂けるように適正な医療介護サービスを展開していきますので、よろしくお願い致します。